

ふるさとの自然、歴史、文化を活かした

まちづくり連携に関する協定書

千葉県香取市と佐賀県鹿島市は、肥前鹿島藩初代藩主鍋島忠茂公縁の地であり、共に国の重要伝統的建造物群保存地区を有し、先人から受け継いだふるさとの財産を活かしたまちづくりを推進している。

世界に誇る香取市の偉人伊能忠敬翁が、実測の日本地図を作るため、肥前鹿島を訪れて200年という記念の年、私たちは、これを契機として、相互の交流を深め、ふるさとの自然、歴史、文化を活かしたまちづくりを連携して推進していくため、下記のことについて確認し、本協定を締結する。

記

- 1 地域の自然、歴史、文化を活かしたまちづくりを連携して推進する。
- 2 地域の産業、特産品などを活かした交流を連携して推進する。
- 3 市民、各種団体、行政などの交流を連携して推進する。
- 4 相互のまちづくりの紹介や情報交換を行う。
- 5 相互交流を有意義に推進し、友好都市として盟約の締結を目指す。

平成24年10月20日

千葉県 香取市長



佐賀県 鹿島市長

